

令和元年7月31日

県政運営評価戦略会議

会長 石田和之 殿

徳島県総合計画審議会

会長 山中英生

「新未来『創造』とくしま行動計画」の評価結果及び「県民からの
優れた意見・提言」を踏まえた対応について（通知）

平成30年11月19日付けで御提言いただきました「新未来『創造』とくしま行動
計画」の評価結果及び「県民からの優れた意見・提言」につきましては、その趣旨を踏
まえ、現行事業の改善見直しや、令和元年度からの新たな総合計画「『未知への挑戦』
とくしま行動計画」の策定に向け、積極的に反映いたしました。

「H30年度提言書」の新総合計画への反映状況（主なもの）

◆基本目標ごとの意見・提言への対応

番号	基本目標(新未来「創造」とくしま行動計画)	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(O)」、現在の取組など)	部局
1	1「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現	成年後見制度について、市民後見人の養成に一層力を入れ、もっと身近に利用できるものにしてもらいたい。	P121	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組を記載</p> <p>●成年後見制度の利用を促進するため、市町村が実施する専門的助言や地域連携ネットワークのコーディネートを行う中核機関の設置などに対する支援を行い、関係団体等との連携・協働による権利擁護支援を総合的に推進します。</p>	保健
2	1「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現	ユニバーサルデザインも含めて、今後のまちづくりで求められているのは「QOL」なので、まちづくりの指標に関し、「質」的な指標を加えてもらいたい。	P78 P79	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●住民の生活利便性の維持・向上に向け、市町による立地適正化計画の策定等を支援し、持続可能な市街地の形成を促進します。</p> <p>●路線バスにノンステップバスを導入することにより、公共交通の利便性、快適性の向上を図ります。</p> <p>○ノンステップバス(路線バス)の割合 (’17) 65% →(’22)77%</p>	県土 保健
3	2「経済・好循環とくしま」の実現	県産材の消費拡大について、今後の公共施設への県産材を用いた木造建築を取り入れることや、大規模な建築事業への県産材の活用を奨励してもらいたい。	P147	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●「徳島県県産材利用促進条例」に基づく県産材の利用拡大や、「木育」の推進による県民総ぐるみの「木づかい運動」を展開する。</p> <p>○木育拠点施設の開設 (’21)開設</p> <p>○県内の県産木材消費量 (’17)13.8万m³ →(’22)18.3万m³</p> <p>※営繕工事において、県産木材の利用を推進するとともに、県内建築士に対し、定期講習会等の場において、改正建築基準法(R1.6施行)における木材利用の推進に向けた規制合理化の解説や、県による木材利用の取組み、木造建築物の事例紹介を行うなど、木材の活用に向けた環境の構築を推進しています。</p>	農林 県土

番号	基本目標(新未来「創造」とくしま行動計画)	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
4	2「経済・好循環とくしま」の実現	徳島のブランドである藍について、藍の増産に係る目標を加えてもらいたい。	P131 P146	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「藍」の生産振興を図るため、タデ藍の収穫・出荷調整作業の省力化などの取組を実施し、栽培面積を拡大する。 <ul style="list-style-type: none"> ○タデ藍の栽培面積 ('17)16ha →('22)25ha ●藍の生産拡大と藍製品開発の加速を図るため、藍の生産性向上に資するロボットの技術開発を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ○省力化・生産力強化ロボットの開発('21)市場投入 	商工農林
5	3「安全安心・強靱とくしま」の実現	地域防災力の強化のため、年齢等を理由に消防団員が退任する際、引き続いて地域の自主防災組織に加入してもらえないか。	P103	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の目標を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材の活用による消防団活動の裾野を広げるため、学生、女性及び消防団OBの加入を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> ○「機能別団員制度」の導入市町村数 ('17)4市町村→('22)20市町村 <p>※退任した消防団員に、引き続き地域防災を担っていただくことは地域防災力の強化の観点から重要なことであるため、消防団の機能別団員(消防団OB)として、引き続き活動してもらえようような仕組み作りを進めているところです。また、地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の活動活性化や防災リーダーの養成・活動支援の取組を進めているところです。</p>	危機
6	3「安全安心・強靱とくしま」の実現	犬猫の殺処分を減らすためには譲渡先確保が大切であり、動物愛護管理センターにおける手続をもう少しスムーズにすれば譲渡先が広がるのではないか。	P122	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の数値目標と取組を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●譲渡交流拠点施設「きずなの里」を活用し、広域譲渡を目的としたボランティア活動の場の拡大を図ることにより、譲渡を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア団体と連携した犬・猫の県際間譲渡数 ('17)－ →('22)100頭 <p>※動物愛護管理センターにおいては、上記の取組に加え、ボランティア団体等との連携を図り、県内外への譲渡の斡旋や、譲渡前・譲渡後の飼育相談支援など、譲渡先の確保とともに適正な飼育管理への支援を通じ、助けられる犬猫の殺処分の低減に向けた取り組みを進めています。</p>	危機

番号	基本目標(新未来「創造」とくしま行動計画)	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
7	4「環境首都・新次元とくしま」の実現	県民に対する環境啓発とともに、農家に対して生態系に配慮した生産技術を指導してもらえれば、農家も日頃から生物多様性の保護に寄与できるのではないかと。	P145	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●安全安心で持続可能性の高いエシカル農産物の認知度向上や、エシカルな農業生産の取組を推進する。 ○エシカル農産物の生産面積('17)1,415ha →('22)2,122ha ○エシカル農業を実践するための新制度の創設('19)創設	農林
8	4「環境首都・新次元とくしま」の実現	美しく豊かな環境を「未来への贈り物」とするためには、学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じて、引き続き環境の大切さを伝えていただきたい。	P186 P187	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、幼児から大人までの幅広い世代の県民を対象とし、「環境首都とくしま・未来創造憲章」及び「キッズバージョン」を積極的に活用した環境教育・環境学習等を実施します。<県民> ○「とくしま環境学講座」及び「親子環境学習教室」受講者数(累計) ('17)2,749人 →('22)9,100人 ●県民の環境保全に対する意識をさらに高め、県民一人ひとりの自主的・積極的意欲を増進させることにより、県民一人ひとりの自主的・積極的な環境行動・活動を促進するため、地域における団体等の環境学習の取組を支援します。<県民> ○環境アドバイザー派遣件数(累計) ('17)747件 →('22)1,100件 ●生命や自然を大切に、地域の環境を守るために行動できる児童・生徒の育成を目指した公立小中高等学校及び特別支援学校の「新学校版環境ISO」の取組を推進します。 ○「新学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合 ('17)創設84% →('22)88%	県民教育
9	5「みんなが元気・輝きとくしま」の実現	ひきこもり対策に関して、「ひきこもり支援員」の増員も含め、体制の整備に努めてもらいたい。	P121	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●医療、福祉、教育等専門職、大学院生等を対象とした「ひきこもり支援サポーター」を養成し、ひきこもりに関する相談業務や支援ネットワークの構築を図る。 ○ひきこもり支援サポーター登録者数(累計) ('17)83人 →('22)130人	保健

番号	基本目標(新未来「創造」とくしま行動計画)	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
10	5「みんなが元気・輝きとくしま」の実現	食育に関して、学校給食への地場産物の活用は、「食品数」ではなく「重量」を目標とし、1日に必要な野菜摂取量の3分の1以上を、できれば徳島産の野菜で賄えるような学校給食が実施できないか。	P84	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の目標を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校給食に地場産物を活用する割合 (‘17)35% →(‘22)35% ○肥満傾向の児童生徒数(小中学校) (‘17)4,979人 →(‘22)2017年度比6%減 ○小中学校への栄養教諭の配置数 (‘17)57人 →(‘22)64人 <p>※栄養教諭が中核となり、バランスのよい食事や地産地消などの食に関する指導を教育活動全体で計画的に実施。また、養護教諭と栄養教諭が連携し、肥満・やせ傾向にある児童生徒等の個別的な相談指導に取り組んでいます。</p>	教育
11	6「まなび・成長とくしま」の実現	高校生の留学者数については、意欲的な学生を育てる施策に取り組んでもらいたい。スポーツに関しては、志が高いほど県外高校に出て行ってしまうので、県内高校を選んでもらえるよう魅力を磨く必要があるのではないか。	P150 P169	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際性豊かな児童生徒を育むため、日本人としてのアイデンティティの確立や英語教育の充実を図るとともに、外国人との交流や体験活動の機会の提供及び海外留学の支援により、異文化理解やコミュニケーション能力の育成などを推進します。 ○有力中学選手「高校生との合同練習会」の実施 (‘17)― →(‘19)~(‘22)「NEO徳島トップスポーツ校」で100%実施 	教育
12	6「まなび・成長とくしま」の実現	教育に関して、「誰もが留学に関心を持つような取組み」や「学力・体力の県内平均を上げる取組」も重要ではないか。	P150 P153 P154	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の目標を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校3、4年生対象「親子で学ぶわくわくイングリッシュデイ」の創設 (‘19)創設 ○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 (‘19)~(‘22)調査で対象となっている国語・算数(数学)で全国平均正答率以上 ○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均を上回る種目数 (‘17)11種目 →(‘19)~(‘22)毎年17種目 	教育

番号	基本目標(新未来「創造」とくしま行動計画)	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
13	7「大胆素敵・躍動とくしま」の実現	インバウンドをはじめとする宿泊者数増に向け、民としっかり連携して観光施策に取り組んでもらいたい。	P135	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●チャーター便や定期便の誘致による観光誘客に取り組むとともに、国際スポーツ大会等の開催に合わせて、県内DMOや県域を越えた広域的なDMOと連携した周遊観光や徳島の魅力を生かしたニューツーリズムを推進することにより、外国人観光客の誘客を促進します。</p> <p>○県内への外国人延べ宿泊者数(暦年) (’17)102,810人 →(’22)168,000人</p>	商工
14	7「大胆素敵・躍動とくしま」の実現	一部の四国遍路道について、道路管理者等の関係者が協力し合い、世界遺産登録に向けて整備や管理に取り組んでもらいたい。	P167	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産への登録を推進するため、四国4県や関係団体と連携し、札所寺院や遍路道を国の史跡として指定する「資産の保護措置」を進めるとともに、遍路道をはじめ地域に根付く「四国遍路文化」の魅力を国内外へ発信する取組をすすめます。</p> <p>○札所寺院及び遍路道の国指定史跡に向けた文化財調査箇所数 (’17)21箇所 →(’22)40箇所</p> <p>○クラウドファンディングの活用など県民参加型の四国遍路文化の保存・活用事業の実施 (’17)― →(’19)~(’22)年間1箇所</p> <p>※四国八十八箇所霊場の巡礼者をはじめとする道路利用者に対し、安全で快適な道路空間を提供するため、国や県等の道路管理者が連携を図り、日常の巡視や定期的な除草作業、路面補修等を実施し、道路の維持管理に取り組んでいるところです。</p>	県民 県土

「H30年度提言書」の新総合計画への反映状況（主なもの）

◆「県民からの優れた意見・提言」への対応

番号	項目	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況（「主要事業（●）」や「数値目標（○）」、現在の取組など）	部局
1	徳島阿波おどり空港へのLCC誘致について	徳島阿波おどり空港へのLCC誘致を進めてほしい。	P140	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●2025年大阪・関西万博開催を視野に、国内外との交流拡大による本県経済の活性化を図るため、エアポートセールスを推進し、国内外との航空ネットワークの維持・充実を図ります。</p> <p>○国内線 ('17)東京線1日11往復、福岡線1日2往復 →('22)維持・充実</p> <p>○国際線の誘致 ('17)チャーター便就航 →('19)～('22)推進 (※('18)季節定期便就航)</p> <p>※国内線、国際線ともフルキャリア、LCC双方を視野に入れ、維持・充実を図ります。</p>	県土
2	マリンスポーツイベントに必要な設備等について	徳島の海・山・川の自然の豊かさを多くの人に体験してもらえるよう、更衣室やシャワー、またボートを安全に水面に浮かべ、乗り降りができる設備などの整備を推進してほしい。	P172	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●「川口ダム湖畔活性化構想」(2019年度策定)に基づき、川口エネ・ミューを核として、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備や、森林体験エリアの活用を地域と共に進め、地方創生へと繋げます。</p> <p>○「カヌー・SUP(スタンドアップパドル)の拠点整備」 ('21)整備・('22)開設</p>	県民企局
3	徳島阿波おどり空港やTurnTableでの藍染め製品販売について	県内の障がい者授産施設では、藍染めなどの製品を製造・販売している。藍染め製品の販売促進を図るため、徳島阿波おどり空港や渋谷区Turn Table内にawanowa(あわのわ)ブランドのショップを開設してはどうか。	P89	<p>※大都市圏の大手百貨店等におけるイベントや物産展での藍染製品の販売をはじめ、徳島阿波おどり空港の展示スペースを活用し、藍染製品をはじめとしたawanowaブランドの製品を展示PRするなど、県内外の各種イベント等を利用し、藍染の認知度向上、販路拡大、売り上げアップに繋げ、施設利用者の工賃向上を促進していきます。</p>	保健

番号	項目	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
4	四国木工市や四国・インテリアマーケットの開催について	徳島県でも県主催で、四国や中国地方の企業も巻き込み、商談市を企画開催してはどうか。	P148	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●国内外における県産品の認知度向上や販路拡大を図るため、新たな視点での商品開発や各種フェアの開催、見本市への出展など戦略的に施策を推進し、県産品の売り上げ向上に取り組めます。 ○県がサポートする県外・海外商談会及びフェアにおける成約・売上高 (’17)3.9億円 →(’22)6.4億円	商工
5	兵庫県との自動車以外の交通確立について	国道28号は神戸市と徳島市を結ぶ国道だが、大鳴門橋は軽車両(原付バイク・自転車)では往来できない。淡路島はサイクリングのメッカとして人気があり、軽車両を運搬できるバス(トラック)を定期路線便として営業するなど、どんな車両でも四国～関西を気軽に往来できるようにして欲しい。	P169	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●サイクルツーリズムの推進により交流人口の拡大や地域活性化を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋への自転車道設置を推進します。 ○大鳴門橋自転車道の整備 (’20)調査設計	県土
6	四国八十八箇所巡りの世界文化遺産化について	四国八十八箇所巡りを世界文化遺産に登録するため、国内外の宗教家や芸能人に四国八十八箇所巡りのPRをしてもらってはどうか。 また、四国八十八箇所を舞台に宿泊型のトレイルチャリティーマラソンを行い、その収益を、景観保護や宿坊の整備、癒しの場所づくりに活用してはどうか。	P167	提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載 ●四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産への登録を推進するため、四国4県や関係団体と連携し、札所寺院や遍路道を国の史跡として指定する「資産の保護措置」を進めるとともに、遍路道をはじめ地域に根付く「四国遍路文化」の魅力を国内外へ発信する取組をすすめます。 ○札所寺院及び遍路道の国指定史跡に向けた文化財調査箇所数 (’17)21箇所 →(’22)40箇所 ○クラウドファンディングの活用など県民参加型の四国遍路文化の保存・活用事業の実施 (’17)― →(’19)~(’22)年間1箇所	県民

番号	項目	意見・提言の概要	新計画の該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
7	トレッキングコース及びサイクルスタンドの整備について	<p>祖谷地域は山が綺麗で景色も良いところがたくさんあるので、古い道をトレッキングコースにしてみてもどうか。</p> <p>また、海外から来るサイクリストの方をよく見かけるので、サイクルスタンドの整備を進めて欲しい。</p>	P136	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組を記載</p> <p>●主要な観光地とアクティビティなどを組み合わせた体験・滞在プログラムを開発することにより、「にし阿波」への誘客を推進する。</p> <p>※トレッキングコースについては、地域観光ガイドの考案した剣山山系を巡るトレイルコース「祖谷街道トレイル」を紹介するマップを作成し配布するとともに、サイクルスタンドについては、「道の駅にしや」と「道の駅大歩危」等に整備しており、今後、サイクリストの意見を聞きながら、必要に応じて整備を進めていきます。</p>	西部
8	手頃なマリンスポーツ子供イベントの定着について	<p>水の都でもある徳島ならではのマリンスポーツを子どもが小さなうちから体験させたいが、どのスポーツも料金が安い。子どもイベントやお得なマリンスポーツを定着させることで県外客も来るのではないかと。</p>	P172	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>●「川口ダム湖畔活性化構想」(2019年度策定)に基づき、川口エネ・ミューを核として、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備や、森林体験エリアの活用を地域と共に進め、地方創生へと繋げます。</p> <p>○「カヌー・SUP(スタンドアップパドル)の拠点整備」 (’21)整備・(’22)開設</p>	県民企局
9	徳島阿波おどり空港への国際路線の就航について	<p>徳島阿波おどり空港に定期便の国際路線を就航させられないか。</p>	P140	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>● 2025年大阪・関西万博開催を視野に、国内外との交流拡大による本県経済の活性化を図るため、エアポートセールスを推進し、国内外との航空ネットワークの維持・充実を図ります。</p> <p>○国際線の誘致 (’17)チャーター便就航→(’19)～(’22)推進 (※’18)季節定期便就航)</p>	県土
10	バイオトイレの活用について	<p>阿南工業高校が竹のパウダーの発酵作用を用いたバイオトイレを発売し、第15回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会で最優秀賞に選ばれた。県としても、災害訓練などに参加していただいた住民の方に実際に使用してもらえればどうか。</p>	-	<p>※県内の高校生が防災意識を持って開発し、高い評価を受けた製品を周知・活用することは、地域防災力の強化はもとより、地域の防災意識の向上にもつながることから、県防災訓練等での同トイレの展示や訓練参加者の実使用に向け、関係機関との調整等、前向きに検討を進めて参ります。</p>	危機

番号	項目	意見・提言の概要	新計画の 該当ページ	新計画への反映状況(「主要事業(●)」や「数値目標(○)」、現在の取組など)	部局
11	既存の資源を生かした企業やイベントの誘致について	<p>① 飲料メーカー、ビールメーカー、研究所等、自然と豊かな水を生かした製造業等を誘致すべきである。</p> <p>② 阿波おどり等のノウハウを生かし、河川敷等の駐車場、鉄道を利用して、屋内外での若者グループ等のイベント誘致を押し進めてはどうか。</p>	P76 P138 P139	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全国屈指の光ブロードバンド環境や立地優遇制度を活かし、大都市圏等から、成長分野関連企業、情報通式関連産業等の誘致や本社機能移転を推進し、本県経済の活性化及び雇用機会の確保を図ります。 ○本県への本社機能誘致(累計) (‘17)4社 →(‘22)12社 ○成長分野関連企業等の奨励指定における立地数(累計) (‘17)69社 →(‘22)110社 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「マチ★アソビ」を核としたアニメイベントを開催することにより、徳島ならではの魅力を活かしたにぎわいの創出や新たな地域文化の創造と発信を図ります。 ●「ナイトタイムエコノミー」の活性化を図るため、「ナイトタイムイベント」を誘致し、宿泊者数及び夜間の観光消費額の増加を図ります。 	商工
12	徳島市内を中心とするバス路線の利便性向上について	<p>徳島市やその付近の公共交通として複数のバス路線が運行されているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バス、徳バス、委託路線を統合した路線図が存在しない。 ・バス路線同士の乗換えが実質徳島駅でしかできない。 <p>といった問題点がある。</p> <p>公共交通を存続させていくためには、路線の再編だけでなくサービスの面でも向上させていくべきであると思う。</p>	P78	<p>提言の趣旨を踏まえ、下記の取組・目標を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次世代地域公共交通ビジョンの策定をはじめ、バス路線の新規開設や新たな技術を活用し、モーダルミックスの推進等に取り組む市町村を支援するなど、地域の実情に応じた公共交通ネットワークの形成を促進します。 ○次世代地域公共交通ビジョンの策定 (‘19) 策定 ○地域公共交通網形成計画など地域における公共交通に関する計画策定数(累計) (‘17) 3地域 →(‘22) 5地域 ○ビジョンの具現化に向けた市町村支援数(累計) (‘17) 1市町村 →(‘22) 6市町村 ○交通結節点の整備実施箇所数(累計) (‘17) 4箇所 →(‘22)10箇所 	県土